

平成30年度 第1回会議で出された意見

参考資料

1 むし歯対策について

	出された意見	対応状況	担当課
①	DMFT指数の数値は低いですが、一人で多くむし歯を保有している子どもに注意する必要がある。 <高松委員>	各学校において、虫歯を多い児童生徒については、家庭環境等も注視して受診勧奨やその後の様子を観察している。	総務課 (教育委員会)

2 歯周病対策について

	出された意見	対応状況	担当課
①	国や県、市での状況でも、働き盛り世代の人の歯周病が増えている。どのように減らしていくか、どのように啓蒙していくのか。 <田口委員・平方委員>	40歳(4,096人)に再受診勧奨ハガキを発送し、歯周病の状況、かかりつけ歯科医での定期健診の意義について周知した。	健康増進課
②	中学生での歯肉炎も増えている。この時期の歯みがき習慣の確立が、成人歯科健康診査の診断結果につながる。 <高松委員>	今年度まで中学校における健康教室の実施に向けてモデル事業を行い、歯肉炎予防・歯みがき習慣の確立のために来年度より「中学校における歯と口の健康教室」を開催する。	総務課 (教育委員会)

3 歯科健康診査の周知・啓発について

	出された意見	対応状況	担当課
①	企業でも定期的な歯科受診の必要性、歯科健診を周知啓発していかなければならない。 <平方委員>	協会けんぽへ受診勧奨チラシを送付し、歯科受診の必要性と受診勧奨を行った(2,050部)。	健康増進課
②	広報まえばしによる歯科保健の周知(歯科受診の目的・歯周病と全身の関係など)を年2回に増やすことはできないか。 <高松委員>	来年度6月の歯と口の健康週間のほかに、市内の歯周病の現状や食育の観点から歯と口の健康について記事を組み周知予定。	健康増進課

4 歯科健康診査の今後の取組について

①	産婦歯科健康診査は後々取り入れるのか。妊婦歯科健康診査と産婦歯科健康診査をセットで実施できればいいと思う。 <本多委員>	現状では実施予定なし。状況に応じて歯科医師会と協議。	子育て支援課
---	---	----------------------------	--------

